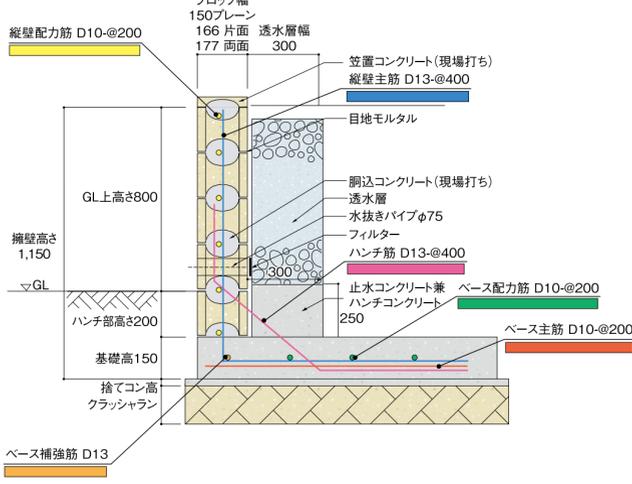


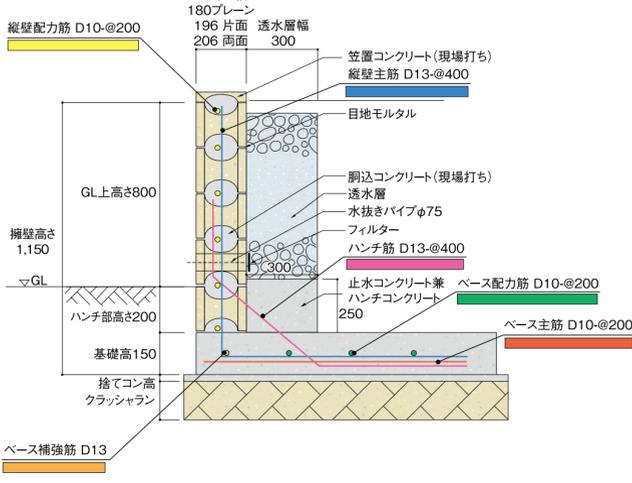
コード/イースワン/レガロ

参考施工図

●型枠ブロックタイプ150型



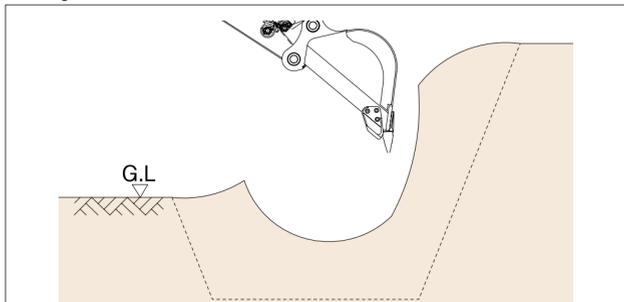
●型枠ブロックタイプ180型



※土質と高さに応じた断面図をご用意しています。詳しくは弊社営業担当者へお問い合わせください。

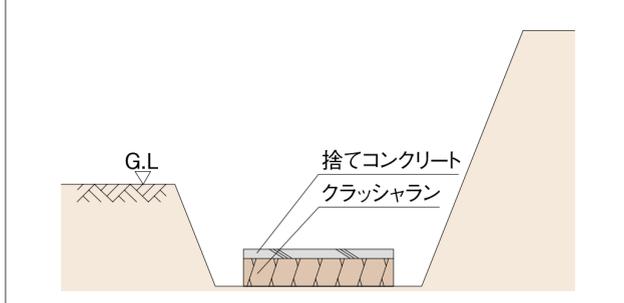
型枠ブロック 施工要領

1. 掘削・床付け



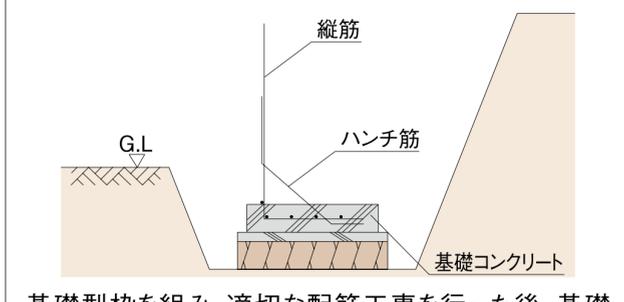
掘削場所の地耐力を確認し、設計図書に従い所定の位置を掘削した後、床付けを行ってください。

2. 地業工事



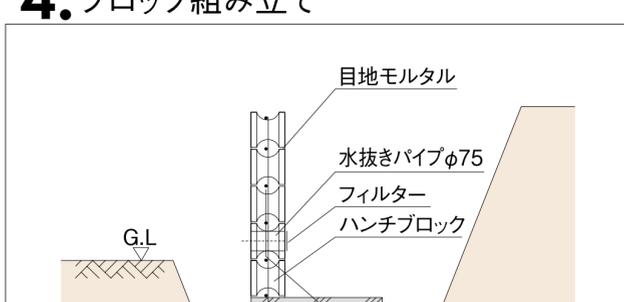
クラッシュラン、捨てコンクリートを所定の厚さに敷き均ししてください。

3. 配筋・基礎工事



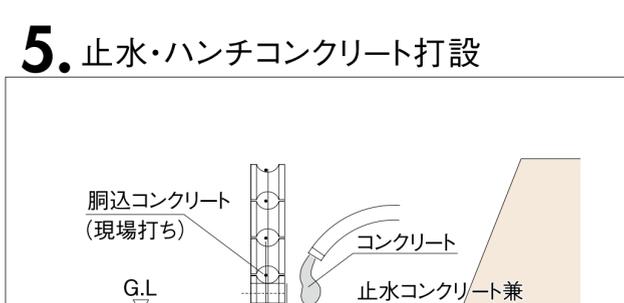
基礎型枠を組み、適切な配筋工事を行った後、基礎コンクリートを打設します。

4. ブロック組み立て



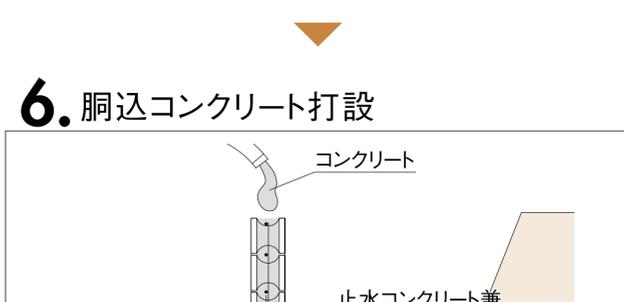
目地をモルタル施工しながら、所定の高さまで組積を行ってください。その際、内部にはみ出たモルタルは、かき落としてください。その後、排水用の水抜きパイプを挿入しフィルターを設けてください。

5. 止水・ハンチコンクリート打設



止水兼ハンチコンクリートの型枠を立て、中間の高さくらいまでコンクリートを打設し、バイブレーターと突き棒にて確実に充填してください。

6. 胴込コンクリート打設



胴込コンクリートを打設し、バイブレーターと突き棒にて確実に充填してください。その際、止水兼ハンチコンクリートが設計高さまで湧き上がるのを確認してください。

7. 笠置・養生・埋め戻し



笠置コンクリートを打設して下さい。(防水モルタル)その後、コンクリートの養生を行い、透水層を設置しながら埋め戻しを行ってください。

1. 型枠ブロック擁壁に用いる材料

底盤及び胴込コンクリートの設計基準強度→24N/mm以上、目地モルタルの容積調合比→セメント1.0:砂2.5

2. 施工における注意点

擁壁の20m以下ごとに伸縮目地を設けてください。縦壁3m以下に1箇所の水抜きパイプ(内径φ75以上)を設置してください。コンクリート打設前にハンチブロック内の掃除を行ってください。